



---

# 専門人材登用を通じた業務効率化と 職員のエンゲージメント向上

---

環境省大臣官房秘書課  
人材育成・業務改革推進室

## 行政ニーズの増加による業務量の増加

2050年カーボンニュートラル

循環経済

生物多様性の保全・促進

東日本大震災からの復興

予算額の推移※

約1兆円

約3,500億円

約36億円



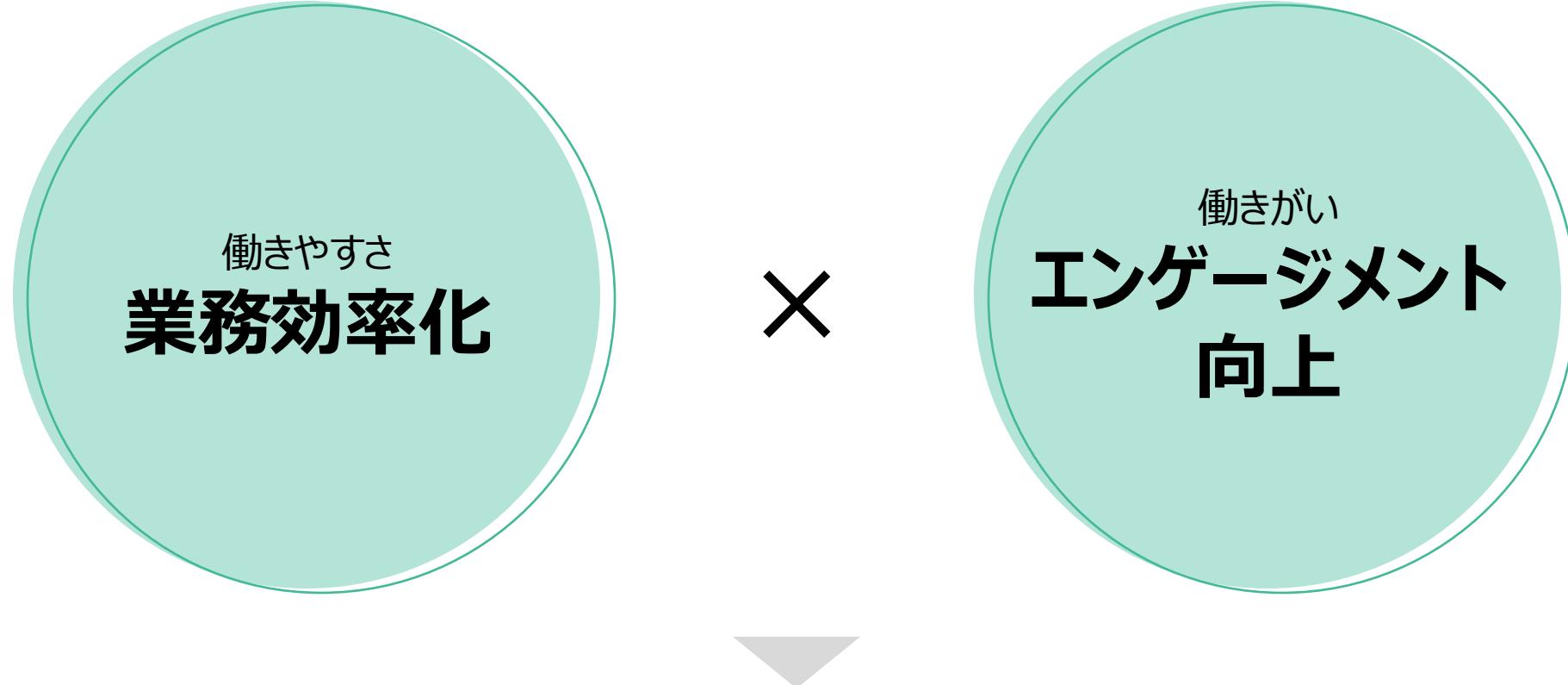
1971年  
環境庁設置

2001～2010年頃

2024年

※補正予算の額を含む

# 人材育成・業務改革推進室のミッション



## 生産性向上

# 外部人材の登用と伴奏支援による業務効率化（1/2）

1

## 専門家の知恵の活用

- 外部から**業務効率化専門官**（2名）を登用

2

## 現場の声を拾い上げる仕組み

- 職員ポータルに**業務改革目安箱**を設置し、誰でも提案可能に
- 毎年、省内において**RPA公募**を実施し、RPA化案件を募集

3

## 伴走支援

- 優先度の高い課題を選定
- 業務フローの見直し、RPA開発による自動化、ツールの定着までを**伴走支援**

# 外部人材の登用と伴奏支援による業務効率化（2/2）

## RPA化 5 件

（例）

- ✓ 国立公園の行為許可申請・審査業務の標準化・自動化
- ✓ 循環交付金執行における官庁会計システム（ADAMS）への入力自動化 [年間2人月削減]
- ✓ 財形貯蓄業務の加入者台帳管理効率化と人給システム入力自動化 [ヒューマンエラー撲滅]
- ✓ 年末調整事務の効率化（RPA・マクロ併用） [作業時間85%短縮]

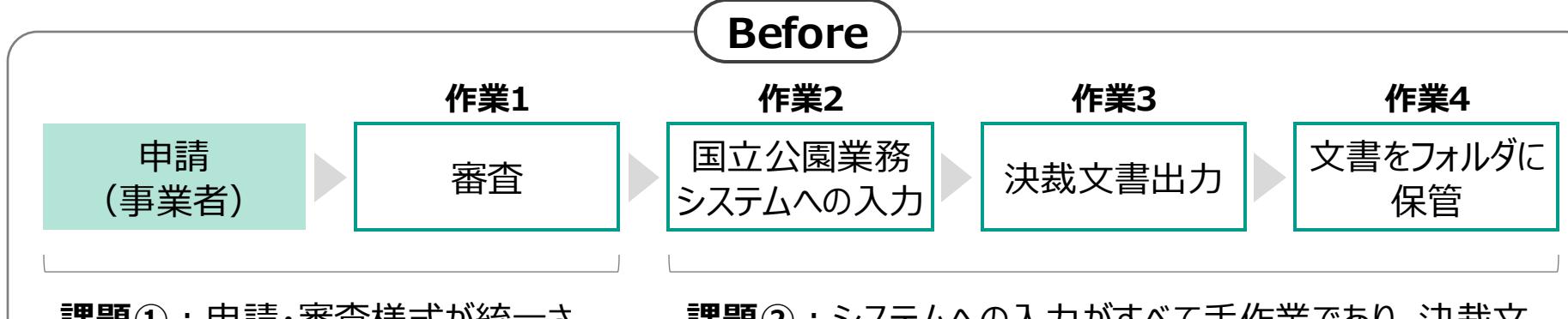
## マクロ化 約50件

（例）

- ✓ 国有財産台帳検索一覧表作成の自動化 [工期1か月→半日に削減]
- ✓ 指定植物制度の植物リスト作成及び官報原稿素案の作成の自動化 [作業時間99%短縮]
- ✓ パブリックコメントで寄せられた意見（メール）のリスト作成の自動化
- ✓ 国立公園運営計画見直しのための記載抽出・転記作業の自動化 [工期2~3日→30分に削減]

# RPA化の事例

## 国立公園の行為許可申請・審査業務の標準化・自動化



- 基礎データ
- ・国立公園事務所：78か所
  - ・年間申請件数：6,000件



**年間削減効果**  
**1,000**時間

※30分/件×2,000件/年 = 1,000時間

# 自律的なキャリアパス形成の後押し

## 取組事例① 省内公募

- ・職種・年次を超えて省内のポストを公募する**省内公募**を2021年から本格導入
- ・2024年は約**40ポストを公募**し、**70名**から応募

## 取組事例②

# “霞が関版20%ルール”の導入

- 業務時間の一部（20%まで）を所属課室の**担当業務以外の活動**に充てることを可能に  
※所属長への届出必要
- 利用者数：**46名**（2025年3月時点）
- タスクフォースの例：
  - ファッションと環境TF
  - サステナブル・ミュージックTF
  - 環境省×Jリーグ連携チーム 等

### ＜活動のタイプ＞

#### 新規開拓型

知見を集めて新たな政策分野を開拓

#### タスクフォース型

課室の枠を超えたプロジェクトを推進

#### 省内副業型

専門性と熱意を活かして他課室業務に貢献



### 取組事例③

## キャリアアドバイザー制度



- 職員のキャリアパスに関する相談に応える**キャリアアドバイザー制度**を2024年から導入
- 事務系若手(約140名)の場合、従来1人の人事担当者が対応していたところ、現在は計6名のキャリアアドバイザーで対応

そのほかにも、"まなびちゃんねる"で毎週、**私の履歴書セミナーの配信**、**職員研修の充実**による人材育成強化、**メンター・メンティープログラム**等を推進。

業務改革

## 組織横断的な取組



エンゲージメント向上

## 組織文化の醸成



